



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日
東

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所
 コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,282	△11.0	△13	—	18	85.9	5	—
2020年3月期第1四半期	5,936	6.7	△26	—	9	△80.9	△10	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △22百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △158百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.25	—
2020年3月期第1四半期	△7.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,191	9,460	62.1
2020年3月期	15,867	9,539	60.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,438百万円 2020年3月期 9,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	42.50	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	△12.7	△30	—	24	△71.3	0	—	0.00
通期	22,300	△8.4	10	△83.1	110	△34.1	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,560,000株	2020年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	225,144株	2020年3月期	225,108株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,334,873株	2020年3月期1Q	1,309,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスのパンデミックが全世界の社会経済活動に大幅な縮小をもたらし、わが国においても4月からの1か月間余り緊急事態宣言が出され、社会活動が大幅に制限されるなか、輸出、内需ともに大幅減で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、役職員のコロナウイルス感染防止対策を実施するとともに、商材の安定供給、機会損失の防止による取引拡大で減収幅の抑制を図るとともに、経費節減に努め収益の確保に努めました。

これらの結果、売上高は52億8千2百万円（前年同期比11.0%減）と減収、営業損失は1千3百万円（前年同期は営業損失2千6百万円）、経常利益は1千8百万円（前年同期比85.9%増）と、増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千万円）となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。今般のコロナ禍による減収効果は、当社事業グループ全般に及びました。中でも大きな影響を受けた主な事業分野は、ゼネコンの大規模工事が休止となった土木関連、自動車生産減の輸送機器関連、インバウンドを含め大幅需要減となった化粧品用途の薬剤等の化学工業関連分野、及び建築工事延期等が影響した建装材事業セグメントであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、舗装道路用添加剤の新規採用が有りましたが、中京地区大型道路工事物件等のインフラ工事関連における地盤改良用のセメント添加剤が大きく減少し、大幅減収となりました。

建材資材関連分野では、内装材の化粧材や壁紙等の用途におけるフィルムや薬剤の増加、建材ボード用の工程薬剤、発泡断熱システム用薬剤の伸長があった反面、塗料関連薬剤が落ち込み、全体では前年並みで推移しました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、リチウムイオン電池用途の放熱材料、ディスプレイ用高性能フィルム関連薬剤は堅調に推移しましたが、自動車関連部品の納入が大きく減少したほか、一部半導体封止用樹脂や精密洗浄剤も減少し大幅な減収となりました。

輸送機器関連分野では、免振装置関連シートは伸長しましたが、自動車関連成型樹脂や車体用防振樹脂、車載用電装部材が大きく減少し大幅な減収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、眼鏡レンズ機能性コート剤、製靴関連及び機能性発泡樹脂関係及び化粧品関連薬剤が減少し、清掃用品材料の伸長はありましたが、若干の減収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品等包装用途は巣籠り需要で伸長、防曇性やガスバリア性、低温耐ピンホール性などを有する高機能性フィルムも堅調に推移するなど、大幅な増収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、繊維の国内加工縮小が続くなか衣料用の染色整理用染料、染色助剤のほか、機能性繊維薬剤も落ち込み大幅な減収となりました。

化学工業関連分野では、機能性樹脂、機能性無機フィラー等の伸長はありましたが、化粧品関連材料が大幅に減少したほか、輸入基礎化学品の一部が価格競争となり同分野全体では減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は44億8千8百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は6千5百万円（前年同期比5.4%減）と、減収減益となりました。

[建装材事業]

建築工事の休止が相次いだため、既存の造作部材、樹脂製品、建具のほか、新商品のオフィス及びキッチン関連も大幅な販売減となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は7億9千4百万円（前年同期比19.6%減）と減収となった一方、営業損失は2千8百万円（前年同期は営業損失4千万円）と、前年同期に比較して損失が減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、7億1千4百万円減少し87億8千7百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億2千4百万円、有価証券が5千4百万円、現金及び預金が3千6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、3千8百万円増加し64億4百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が7千4百万円増加し、無形固定資産が1千9百万円、有形固定資産が1千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、6億7千5百万円減少し151億9千1百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、5億4千万円減少し46億9千6百万円となりました。これは主に、買掛金が2億3千9百万円、電子記録債務が2億8百万円、その他に含まれる未払金が9千7百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、5千6百万円減少し10億3千4百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が3千3百万円、その他に含まれるリース債務が1千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、5億9千6百万円減少し57億3千1百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、7千9百万円減少し94億6千万円となりました。これは主に、利益剰余金が5千1百万円、為替換算調整勘定が3千1百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想(連結・個別)を公表いたしました。詳細は、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,845	1,144,112
受取手形及び売掛金	6,044,282	5,519,910
電子記録債権	1,278,431	1,261,631
有価証券	54,154	-
商品及び製品	737,646	733,345
仕掛品	20,416	20,743
原材料及び貯蔵品	42,336	42,019
その他	143,869	65,429
貸倒引当金	-	△142
流動資産合計	9,501,981	8,787,050
固定資産		
有形固定資産	2,060,454	2,044,563
無形固定資産	175,993	156,589
投資その他の資産		
投資有価証券	3,972,553	4,049,473
退職給付に係る資産	21,882	17,365
その他	135,838	137,702
貸倒引当金	△1,026	△1,029
投資その他の資産合計	4,129,248	4,203,512
固定資産合計	6,365,696	6,404,665
資産合計	15,867,677	15,191,716
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,372,081	3,132,566
電子記録債務	1,419,945	1,211,223
1年内返済予定の長期借入金	30,064	28,732
未払法人税等	16,862	30,626
賞与引当金	57,220	16,546
役員賞与引当金	20,200	5,450
その他	320,766	271,615
流動負債合計	5,237,140	4,696,759
固定負債		
長期借入金	85,443	78,528
役員退職慰労引当金	300,738	266,747
退職給付に係る負債	3,020	3,257
その他	702,085	686,399
固定負債合計	1,091,286	1,034,931
負債合計	6,328,427	5,731,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,456,843	1,456,843
利益剰余金	5,394,797	5,343,736
自己株式	△457,568	△457,665
株主資本合計	8,110,671	8,059,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,346,980	1,354,091
土地再評価差額金	32,572	32,572
為替換算調整勘定	24,313	△7,278
その他の包括利益累計額合計	1,403,866	1,379,385
非支配株主持分	24,711	21,124
純資産合計	9,539,250	9,460,025
負債純資産合計	15,867,677	15,191,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,936,644	5,282,423
売上原価	5,403,150	4,792,464
売上総利益	533,493	489,958
販売費及び一般管理費	559,818	503,130
営業損失(△)	△26,324	△13,171
営業外収益		
受取利息	1,772	1,918
受取配当金	30,066	31,313
持分法による投資利益	2,085	1,466
仕入割引	1,065	890
その他	5,347	3,535
営業外収益合計	40,336	39,123
営業外費用		
支払利息	215	145
売上割引	1,175	820
為替差損	-	4,021
その他	2,633	2,397
営業外費用合計	4,024	7,385
経常利益	9,987	18,566
特別利益		
固定資産売却益	57	-
投資有価証券償還益	-	11,819
特別利益合計	57	11,819
特別損失		
投資有価証券評価損	413	-
特別損失合計	413	-
税金等調整前四半期純利益	9,632	30,386
法人税、住民税及び事業税	21,013	26,398
法人税等合計	21,013	26,398
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,380	3,987
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,006	△1,684
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,374	5,672

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,380	3,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158,246	7,111
為替換算調整勘定	12,823	△32,846
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,086	△584
その他の包括利益合計	△147,509	△26,319
四半期包括利益	△158,889	△22,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158,572	△18,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△317	△3,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,949,149	987,494	5,936,644	—	5,936,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,949,149	987,494	5,936,644	—	5,936,644
セグメント利益又は損失(△)	69,318	△40,539	28,778	△55,103	△26,324

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,488,257	794,166	5,282,423	—	5,282,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,488,257	794,166	5,282,423	—	5,282,423
セグメント利益又は損失(△)	65,593	△28,182	37,410	△50,581	△13,171

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。